

アジアこども会議



- 日 時 2004年8月19日(木) 15:15~17:15
- 会 場 如水会館(東京・千代田区 富士の間)
- 後 援 外務省、文部科学省、環境省、東京都、NHK、フジテレビ、テレビ朝日、朝日学生新聞社
- 助 成 地球環境基金
- 協 力 全日空
- 会議参加者 コンクール受賞者・ガラパゴス諸島・フィジー諸島
- イベントの内容 受賞者及びガラパゴス・フィジーの子供達が各国の保護動物の絵を描いたものを一人ずつ紹介し、その発表を「こどもアジェンダ21宣言」としてまとめ、環境省総合環境政策局環境教育推進室長(環境大臣代理)に提出する。
- 会議のテーマ 『生物多様性を守るために私たちに出来ること』
- 司会進行 田原 洋子 他

プログラム

高円宮妃殿下ご入場
主催者代表挨拶<地球こどもクラブ副会長 加納時男>
第11回アジアこども会議
こどもアジェンダ21宣言書とりまとめ・環境省 環境教育推進室長へ提出
高円宮妃殿下ご退席

アジアこども会議内容

■ 会議テーマ「生物多様性を守るために私たちに出来ること」

今回は、受賞者の他にフィジー諸島、ガラパゴス諸島の子供たちも加わり、自分たちの国で守らなければならない生物・植物の絵をあらかじめ調べて描いてもらい、その生き物の生息場所やどのように守っていかなければいけないのかなどを一人ずつ発表してもらった。



中国 ワンズー シュワイ (中学1年生)

僕が書いたのは中国のジャイアントパンダです。これは写真ではありません私が描いた絵です。パンダは中国の特有の動物です。さらに世界の人々が大好きです。パンダは中国では1級の動物です。パンダは猫科のほ乳類です。竹や木登りが好きです。人間の住む地域の拡大によりパンダ生息地は激減し、パンダの数も少ないときでは1000匹余りしかいませんでした。保護区では努力の甲斐あって、パンダの群れは増加しています。私は人類に言いたいことは、動物に森、水、青空を返しましょう。我々各国のみんなと手をつないで動物を保護しましょう。



マレーシア ブーンチュング (小学6年生)

オラウータンは森に住んでいます。オラウータンは、森林の伐採やペットとしての密猟などで数が減っています。1匹の赤ちゃんを手に入れるために4匹の大人のオラウータンを殺すということを皆さんご存知でしょうか？絶対にペットとしてオラウータンを飼わないで下さい。



服部 聡美 (中学1年生)

これは沖縄県の伊平屋島に住むイヘヤトカゲモドキです。
 その生き物の存在を知り、どんな生き物か分かっていなければ救いようがありません。生き物を絶滅させるということは、一つの国を滅ぼすのと同じ事つまり、とても残酷なことです。地球は宇宙でも少ない環境に恵まれた星です。居なくなってしまうたら二度と出会うことは出来ません。それは凄く寂しいことだと思います。そうならないように生き物を守るためには、環境を守らねばなりません。



ガラパゴス諸島 ナタリー・タチアナ・オルトゥニョ・サモーラ (中学3年生)

私が描いた絵はガラパゴスゾウガメです。私はゾウガメ友の会というクラブで活動しています。
 私たちの島は、海外から多くの外来種が入ってきたことにより、沢山の問題を抱えています。とくに山羊が問題で、ガラパゴスに生えているゾウガメの餌を食べ尽くしてしまいます。人間による被害も深刻で、ガラパゴス諸島に人間が来るようになってから、ガラパゴスゾウガメを食料にしてしまい数が減ってしまいました。現在でもガラパゴスゾウガメの密猟や違法な密売により乱獲されています。私たちはゾウガメ友の会で、毎日ゾウガメを守るために活動しています。

こどもアジェンダ 21 宣言まとめ&署名



会議で発表された各国の絶滅の危機に瀕している生き物を会議に参加した一人一人がそれらを守る輪の中心となって、行動していこうとの決意を込めて今年の「こどもアジェンダ21宣言書」が完成いたしました。

こどもアジェンダ21宣言書

多様ないのちを 守り育む 人の輪を 私たちの手で！



各国1人ずつ並び、代表して日本の志馬田美咲さんが、渋谷晃太郎環境省総合環境政策局 環境教育推進室長に手渡しました。